レ点：下を先に読み、上へ戻る

図の三つの要素を区別する

大きな文字が本文、右下の小さな文字が送り仮名、左下が返り点です。

左の薄い番号は上からの位置です。読む順序の答えではありません。

例は位置2の「鐘ヲ」を先に読み、位置1の「聞ク」へ戻ります。書き下しは「鐘を聞く」です。

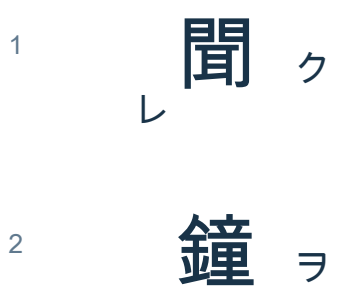
語句の支え

鐘（かね）— 音を鳴らす道具。聞く（きく）。

図のカタカナの送り仮名は、書き下しではひらがなで書きます。

図に読む道筋を書き、声に出して確かめる

説明用：レ点の実際の位置



自分が戻った所・止まった所を残す

一二点：間の語も読み、戻る場所を確かめる

例：白き雲を愛す

位置1の「愛」に二、位置3の「雲」に一が付いています。

位置2の「白キ」、位置3の「雲ヲ」を読んでから、位置1の「愛ス」に戻ります。

読む順序は2→3→1。「白き雲を愛す」と書き下します。

「白」のキを飛ばさず、図の文字と語尾を指して読みます。

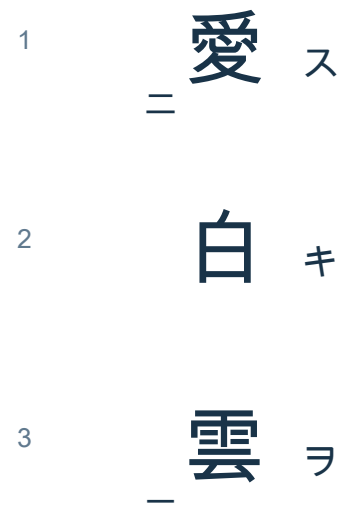
語句と表記を分ける

白き（しろき）— 名詞の前の文語の形。雲（くも）、愛す（あいす）。

「白い雲を愛する」のような現代語訳と、図を保つ書き下しを分けます。

順序・書き下し・音読で確かめたこと

説明用：一から二へ戻る



一の付いた文字から、どこへ戻るか説明する

別の訓点図で確かめる 1

C1. C1の訓点図を見て、位置番号による読む順序と書き下し文を書いてください。戻る場所の印を指し、送り仮名を含めて音読してください。

解答・理由を書く

C2. C2の図では、上から位置1、2の順に読めるでしょうか。読む順序と書き下し文を示し、判断した印を説明してください。

解答・理由を書く

C1の訓点図



C2の訓点図



別の訓点図で確かめる 2

C3. C3の図を、返り点と送り仮名を確かめながら読んでください。読む順序、書き下し文、戻る前に読む二つの文字を示してください。

解答・理由を書く

C4. C4の図を読んで書き下してください。「鳥」と「声」の関係をどの送り仮名が表すか、またどの印で「聞」に戻るかを説明してください。

解答・理由を書く

C3の訓点図



C4の訓点図



別の訓点図で確かめる 3

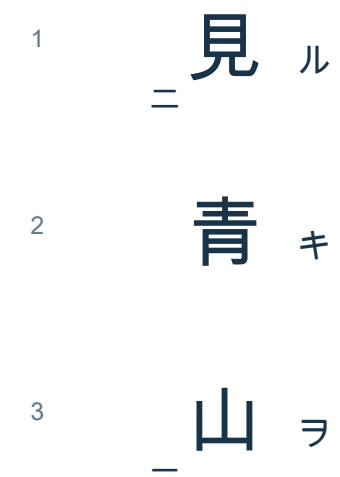
C5. C5の図に対して「青い山を見る」と書いた人がいます。図の送り仮名を保った書き下し文に直し、直した箇所を示してください。現代語訳との違いも説明してください。

解答・理由を書く

C6. C6の図で、読む順序と書き下し文を示してください。最後に図を指しながら音読し、最初の書き方を直した場合は、根拠にした返り点や送り仮名を説明してください。

解答・理由を書く

C5の訓点図



C6の訓点図

